

第39期(令和6年度) 事業計画



1. 事業推進方針

今期も、AHMICビジョン、第9次中期運営計画のもと、さらなる経営の安定と成長を目指し、積極的に事業を推進してまいります。

注力する取組

- **経営基盤のさらなる整備**
- **新しい技術・開発手法への積極的取組**
- **ユーザーからの信頼獲得**
- **情報セキュリティの遵守と社員教育の徹底**
- **企業価値のさらなる向上**

2. 業務別売上目標

(単位：千円)

業務区分	計画	前期	対前年増減	前年比
常駐保守	78,771	83,309	-4,538	94.6%
賃貸借及び管理保守	106,708	92,944	13,764	114.8%
個別委託	107,504	53,651	53,173	200.4%
データ入出力	7,431	7,431	0	100.0%
パッケージ販売	41,153	57,489	-16,336	71.6%
その他	380	452	-72	84.1%
合計	341,947	295,276	46,671	115.8%

- 常駐保守では自治体にて新システムの保守を見込む
- 賃貸借及び管理保守／データ入出力は前年並
- 個別委託では制度改正、自治体業務システム標準化関連の案件の獲得を見込む
- パッケージ販売は、新規ユーザの獲得や既存ユーザへの機能追加等を見込む

3. 業務別推進方針

(1) 常駐保守

- 日常保守手順の再確認と基本行動やコミュニケーションの徹底により、安全・確実な業務遂行を実施
- 従来業務に加え、昨年度より開始した標準化先行業務、市民課関連システムの保守業務の確実な実施

(2) 賃貸借及び管理保守

- 自治体システム標準化対象業務への移行作業の開始
- 最適化対象業務の移行方針の確定と実施
- 学校給食支援システム更新の確実な実施
- 新型コロナワクチン接種対応等の機能追加や改修業務の確実な実施
- 狂犬病予防システム更新に向けての提案の実施
- 新たな民間病院医事システムの保守業務の受注

(3) データ入出力

- 特定健診、各種健診、予防接種等データ入出力業務の確実な実施
- 特定健診・特定保健指導の第4期対応の実施

(4) 個別委託

① 予定案件の確実な遂行とさらなる受注

【自治体業務】

- ・ 児童手当法の一部改正に伴う児童手当等システム機能改修業務
- ・ 北海道医師会との協定締結に伴う乳幼児統計システム改修業務
- ・ 障害者福祉システム標準化対応業務
- ・ 児童手当システム標準化対応業務
- ・ 健康管理システム標準化対応業務
- ・ 就学事務システム標準化対応業務
- ・ 医療費助成最適化対応業務（重度）
- ・ 医療費助成最適化対応業務（ひとり親・子ども）
- ・ 標準化（国保給付）に関する移行支援（メーカー受託）
- ・ 人事給与／庶務事務更新への移行支援（メーカー受託）

【病院業務】

- ・ 6月診療報酬改定対応
市立A、B医療センター、C市立、札幌D病院
- ・ パートナーとの連携による民間病院医事システム更新作業

②令和7年度以降の受注獲得に向けた提案活動

【自治体業務】

■自治体業務システム標準化移行開始と稼働に向けた提案

- ・健康管理、障害者福祉、児童手当、就学事務システムの令和7年度標準システム稼働に向けての移行作業と提案の実施
- ・医療費助成システムの令和7年度標準システム稼働に向けての移行作業と提案の実施
- ・国保レセプトシステムに関する移行作業の実施
- ・特定健診・特定保健指導システムの健康管理サーバ移行の提案
- ・標準化対象外システム（保健福祉）の次期システム移行の提案

【病院業務】

■病院システムの導入支援のさらなる受注に向けたメーカー、パートナーとの連携の継続

■自社営業による医事システム導入に向けて、ORCA及び連携する電子カルテシステムに関する検討の実施

(5) パッケージ販売

① 受注案件の確実な実施とさらなる受注に向けた提案

【健診システム】

■ 受注済

- ・ E 病院電子カルテ更新に伴う健診変更作業（9施設）
- ・ F 札幌病院カスタマイズ

■ 提案中

- ・ 苫小牧 G 病院（新規、パートナー連携）
- ・ H 札幌病院（新規、パートナー連携）
- ・ 札幌 I 病院（新規、パートナー連携）

■ パートナーとの連携によりさらなる案件を獲得

【給食システム】

■ 保育所向け 新規 2 件

■ 特別支援学校向け 全ユーザ更新済み

②製品・販売・サポートの強化

【健診システム】

■次期バージョンの開発

- ・開発体制の再整備の実施
- ・標準化・ドキュメント化についても継続実施

■パートナー連携強化による受注案件の増加

- ・パートナーとの密な連携を強化
- ・IT補助金活用による中規模病院へのアプローチ

■リモート保守の拡大に向けた検討の継続実施



【給食システム】

■特別支援学校向け次期バージョンの導入

- ・完了済みで当面は保守を中心に実施

■パートナーとの連携

- ・保育所向けの新規ユーザー獲得に向けて既存のパートナーとの連携を継続



4. 経営基盤の整備に関する取組方針

(1) 調査及び研究に関する取組方針

■ AI（人工知能）技術の活用

- ・勉強会への参加 技術動向や利用方法の調査・研究を継続実施
- ・生成AIの活用やパッケージへの組込に関する調査・研究

■ 自治体業務システム標準化に向けたガバメントクラウド環境構築スキルの習得

(2) 人材育成及び技術習得

■ 人材育成への取組

- ・日々の業務を通じての育成に加え、研修会やWeb教育を積極的に活用

■ ITや業務スキルの習得

- ・資格取得へのチャレンジも含めてITスキルのさらなる向上
- ・各業務を通じて、業務スキルについても確実に習得

■ 自治体業務システム標準化に対応した技術の習得

- ・標準化システムの汎用業務開発ツール
- ・統計データ抽出・作成ツール

(3) 働き方改革及び業務効率化、DX

■社内情報基盤の整備・活用

- ・Web会議システム、テレワーク・リモートワークの活用継続**
- ・ペーパーレス化や承認業務のワークフロー化の検討**
- ・文書管理や承認業務の効率化及び迅速な意思決定のためのシステム化検討**

(4) 新規事業

■自社営業による医事システム導入事業についての検討の具体化

5. 企業価値の向上に関する取組方針

(1) 情報セキュリティ及びI SMS

■定期的な社内研修及び各グループ単位でのディスカッション

- ・セキュリティへの意識向上
- ・絶えず対策やルールの見直しを実践、PDCAサイクルを継続
- ・各グループの検討内容・事例の全社での共有

■ウイルス及びランサムウェア等への対策

- ・セキュリティベンダーから情報収集を継続、適切に対策を実施

■持込機器やUSBメモリ等の使用記録等の徹底を継続

■I SMS更新審査 新規格への対応を実施

(2) 事業継続計画

■地震、水害等の天災や火災、停電等や新型コロナウイルスやインフルエンザによる事業継続リスク対策について検討を継続

(3) 脱炭素、環境負荷の低減

■環境負荷低減活動の継続と意識の向上への取組を継続

- ・クールビズ／ウォームビズによるエアコン・暖房の節約
- ・こまめな節電、紙資源の節約、アイドリングの自粛

(4) 社会貢献活動

■地域社会への貢献を見据えて活動計画を検討

- ・こども食堂への寄付
- ・リベライン旭川パーク（フラワーランド）の清掃活動
- ・親睦会と連携による球技大会などのチャリティイベントの実施
- ・地域イベントへの参加

■プロジェクトメンバーを中心に社員による自発的な活動を継続

